

ごみ収集車(パッカー車)の火災事故防止にご協力を

今年度は、市内でごみ収集車の火災がすでに3件発生しています。原因は、金属の日に出された中身の残ったスプレー缶や使い捨てライターです。そこから漏れて車内に充満したガスに、収集時の金属摩擦により発生した火花が引火して、車内のごみに燃え移ったものと考えられます。

このようなことを未然に防ぐため、火災の発生原因となる物をごみ集積所に出すときは、次のような処理をしてから出してください。



5月に発生したごみ収集車の火災

●使い捨てライター



中身を使い切ってから別袋に入れる



燃やせないごみの日に出す

●カセットボンベ・ヘアスプレーなどの缶



中身を使い切り、屋外で穴を開けてガスを抜いてから別袋に入れる

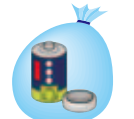


金属の日に出す

●石油ストーブ



灯油、乾電池を抜く



乾電池の日に出す



残った灯油は購入先に相談

ちょっとした工夫やひと手間でごみも臭いもすっきり!

家庭から排出される可燃ごみの大半は「生ごみ」で、その重量のほとんどが水分です。一世帯一世帯の水分を減らす小さな取り組みが、市全体では大きな効果につながります。ごみの減量に皆さんの協力をお願いします。

買い方・作り方で工夫

- 安くても余分なものは買わない。
- 食べる分だけ作り、残さず食べる。
- 野菜の皮や芯なども料理に使い、生ごみ自体を減らす。



最初から水にぬらさない工夫

- 野菜などで使えない部分は洗う前に取り除き、水分を含んでいるものとは別にする。
(水を切るための三角コーナーは、シンクの中にあるため、かえって水分が増えてしまう場合があります)



水切りの工夫

- 水気のある生ごみは、三角コーナーなどで水のかからない状態で一定時間放置する。(かなりの水分が切れます。最後にひと絞りするとさらに効果的です)



水切りの効果

- 嫌な臭いが減ります。
- ごみが軽くなってごみ出しが楽になります。
- ごみの重量が減ると、収集車の燃費も良くなり、焼却炉の燃焼効率も上がるため、二酸化炭素の発生抑制につながります。

生ごみの堆肥化



- 生ごみ処理機などを利用して堆肥化する。
※市では生ごみ処理機やコンポスト容器を購入する場合の補助金制度を設けています。環境政策課(☎229-3258)または各総合支所地域振興課へお問い合わせください。